

Clinical features and outcomes of 139 Japanese patients with Hodgkin lymphoma

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2016-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 蒔田, 真一 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001905

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1762 号

Clinical features and outcomes of Japanese patients with Hodgkin lymphoma in the last decade

(標準的初回治療を受けたホジキンリンパ腫患者 144 人の臨床的検討)

蒔田 真一 (まきた しんいち)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、最近 10 年間の日本における Hodgkin lymphoma (HL) 患者の臨床像および治療成績に関して検討したものである。

本論文の結果から、最近 10 年間に標準的初回治療を受けた日本人 HL 患者の予後は既報と同様に良好であることがわかった。一方で、支持療法が目覚ましい進歩にも関わらず、過去の治療成績として大幅な改善は認められなかった。また進行期 HL 患者は限局期 HL 患者に比して優位に再発リスクが高く、さらなる治療開発の必要性が示唆された。

最近 10 年間の日本人 HL 患者に対する治療成績に関して質の高い報告が少ない。この研究は単施設における後方視的検討だが、統一された診療方針に基づき「標準治療」が行われた患者を対象としているため、データの質は比較的高いと考えられる。また、過去に日本で行われた複数の臨床試験と比しても多数例での検討である。本論文は今後の日本の HL に対する治療開発において reference data となる臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。